

店も本腰 食品ロス減

中国地方のスーパーが、食品ロスを減らす取り組みを本格化させている。賞味期限が迫った店の商品に特典を付けて購入を促したり、家庭や店で使わなかった食品を集めて福祉団体に届けたりしている。国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」が食品廃棄量の削減を唱える中、消費者の関心も高まっている。

(筒井晴信)

地場スーパー 消費者も関心

地場流通大手イズミ(広島市東区)は17日、賞味・消費期限が近づいた総菜や弁当に専用シールを貼って購入を促す「もぐもぐチャレンジ」を始めた。シールを10枚集めると、おもちゃなどの景品が当たる。ゆめマート八幡(佐伯区)八木(安佐南区)西条(大竹市)の3店で試行。扱う店舗の増加も視野に入れる。

家庭で余った未開封の食品を寄せてもらい、各地域のフードバンクを通じて子ども食堂などの福祉団体に届ける「フードドライブ」も15日に開始。中国地方と九州のゆめマート全37店で取り組む。常温で保存できる▽賞味期限が1カ月と1週間以上残っている▽成分やアレルギー表示がある▽などの食品を対象とする。

背景にあるのが、SDGsだ。国連は2030年までに、1人当たりの食品廃棄を世界全体で半減させる目標を持つ。イズミは「環境に配慮している会社か否かを意識する消費者が増えた。ロス削減に地域と取り組むきっかけにしたい」とする。

フジ(松山市)も24日、フードドライブの常設コーナーを愛媛県内の3店に初めて設けた。フジグラン松山(同)で2月に試したところ、3日間計3184個(1085キログラム)が寄せられた。「ロス削減への消費者の共感に予想以上だった」と同社。広島県内の店舗への拡大も検討する。

売れ残る食品を早めに店頭から撤去し、福祉団体に直接提供しているのはハローズ(福山市)。15年に5店舗だった提供量は、20年には100店舗に拡大した。今年は、新型コロナウイルス禍の中で収入が減って生活に困る人が増えたのを背景に福祉団体からの要望が強まり「150店舗に迫るペース」という。

イズミが、ゆめマート二葉の里に設けた「フードドライブ」コーナー(広島市東区)

軸受けは近年、データセンタールの冷却機材などに使う小型の販売が伸びている。一方中国地方は大型機材用の特殊な形状の需要が大きい。「それぞれ特色があり、技術力の高い企業が多いことを示して

場で使う産業機械の奥にも組み込まれており、中国支社は自動車関連を除くメーカーへの営業を担当する。「何かあると顧客の作業が止まってしまう。品質の高い製品を的確に供給する」と意義を説く。

日本精工中国支社

金川好史支社長(53)



「特殊な軸受けの需要に応えたい」

営業一筋 熱意持ち正直に

91年に入社して以来「社内でも珍しい」という営業一筋。89年から東京で一貫して鉄鋼、鉄道を担当し、2017年に中国支社長として赴任し、まくいけば感謝される。仕事

千葉県君津市出身。横浜市内に妻を残し、広島市南区で単身赴任。自宅から徒歩15分圏内に職場や中心街があり、「中国地方の中核都市でありながらコンパクトで住みやすい」と気に入っている。

(秋吉正哉)

《支社概要》広島市南区大州。1957年、大阪支社広島出張所として開設。中国5県と愛媛、高知県を担当し、福山営業所(福山市)を含めた従業員は約40人。同じビルに自動車向けの拠点も入る。

広島県初の複合店開業

福山 KFCとピザハット



外食業のTANABEグループバルキッチン(広島市東区)は26日、福山市御門町の旧中国新聞備後本社ビル跡地に、ケンタッキーフライドチキン(KFC)とピザハットの複合店をオープンした。

約200平方メートルの平屋に、KFC福山ばら公園前店とピザハット福山ばら公園前店のそれぞれの注文口がある。店内には共有の26席があり、持ち帰りもできる。KFCはドライブスルーでも購入できる。駐車場は10台。営業時間はKFC

改装後の外観イメージ



NYにビル取得 23年主要店開業 50億円で源吉兆庵

菓子製造の源吉兆庵グループ(岡山市北区)は米国ニューヨークの5番街で2023年に主要店をオープンするため、自社ビルと土地を先行取得したと発表した。同グループが海外で不動産を取得するのは初めてで、取得額は約50億円。

場所は5番街49丁目、有名ブランド店が並ぶニューヨークの中心街。約28



源吉兆庵グループがニューヨークに購入したビル(中央)

コナモン作って写して オタフクが催し

合戦せ... キャンペーン... したオンライン... ルス禍で... しくなる中... うと企画し... 写真投稿... 式インス... る。小麦... モン料理... 選で570... オンライ... 動画投稿... 式ページ... ロサイズの... アルタイム... 料。通話無... 31052



開店し、来店客にぎとFCCとピザハットの複合

0平方メートルの土地と地階、地下1階の鉄骨1棟(延べ約2千平方メートル)を購入した。改装した1上1階を主要店とし、子や洋菓子、ベーカリーなどを置く計画。ほかのアはまた用途を決めている。

5番街での購入理由について、グループは「発があり、購入物件などの料にも左右されない」と明している。

グループの海外展開は1993年のシンガポールが初。現在、英国や米台湾など8カ国・地域36店を出している。米国は14店。ニューヨークは97年に5番街へ主要構えたが、地価高騰に賃料上昇で13年にマデソン街に移していた。

グループは「店の催しを通じて、和菓子と日本文化を発信したい」としている。

(中島)